

高橋 美博 議員

農産物認証制度を袋井市で実施を

Q 問 農産物の安全・安心を保証する本制度は、消費者の信頼を得るための有効な制度と考えるがどうか。

A 答 地産地消を進め、地域ブランドを高める意味で有効な制度だが、システムづくりに時間を要するため、今後の研究が必要である。

イノシシなどによる被害防止の対策を

Q 問 鳥獣被害特別措置法に基づく実態調査・被害防止計画はどうか。

A 答 現段階では、市の許可権限の中で被害防止への対応ができていると考える。当面、計画は必要ないと考えるが、今後も情報収集に努め、必要と判断した段階で計画をつくる。

“ モンスターペアレント ”への対応は

Q 問 理不尽な要求を学校・教師に寄せる保護者(モンスターペアレント)がふえていると聞くと、袋井市での事例・対応はどうか。

A 答 小中学校で9校37人あった。学校と保護者とが連携を深め、県や近隣市町との連携を図り、対応策を考えていきたい。



生産工程の安全性について認証する県の制度

寺井 紗知子 議員

袋井市民病院の医師不足は大変憂慮すべき事態だ

Q 問 病院の現状について、市長の見解を問う。

A 答 収支的には改善されているが、患者数の減少や看護師不足が顕著になるなど経営全体は大変厳しい。この状況を打開するため、医師の確保が最も重要と認識しており、関係機関に強く働きかけている。

Q 問 医師や看護師とのコミュニケーションは、図られているのか。

A 答 医師、診療技術部の幹部職員等と病院の現状や問題点等について話し、現場職員の生の声を聞くことに努めている。また、毎月の朝礼にも可能な限り出席し、新病院に対する取り組みや考え方等の話をし、職員を励ますことにも努めている。

木造住宅の耐震化が進まないのは多額な費用がかかることにあるが

Q 問 簡易耐震補強工事も補助金対象とする自治体が増えてきたが、本市ではどうか。

A 答 市独自で補助するには、県の補助なしでやらなくてはならない。現段階では現行制度を推進していきたいと考えているが、簡易耐震補強工事にも補助が出るよう、引き続き県に話をしていきたい。



市民病院